

単位：¥

| 収入項目 | 加盟金 | 単価 | 数量 | 金額 | 予算 |
|---|------------------------------------|--|----|---|-----------|
| 個人 | 北東 関東 北信越 東海 関西 中九四 | 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 | | 396,000 1,010,000 228,000 324,000 380,000 28,000 | |
| 学連登録2年目以降の追加加盟費 | 関東 関西 | 2,200 2,200 | | 22,000 2,200 | |
| 合計 | | | | 2,390,200 | 2,500,000 |
| 賛助金 | | | | | |
| 2021年度賛助金 | | | | 495,525 | 100,000 |
| 事業収入 | | | | | |
| 2020年度ICMR貸付金 | | | | 90,893 | 1,500,000 |
| 2020年度ICMR黒字返金 | | | | 0 | 500,000 |
| 地図関係 | | | | | |
| 地図収入 | その他収入 | | | 2,893,300 | ※※ |
| 関東学連から家賃として JOAからの寄付 群馬県協会からの寄付 インカレ限定ウエア寄付 個人からの寄付 | | | | 100,000 130,000 10,000 37,800 5,000 | 50,000 |
| 利息 | | | | 61 | 1,000 |
| 小計 | | | | 6,152,779 | 4,651,000 |

※1.ユニバーは2年に一度であり2年に一度まとめて30万円を支出するが
計算上は1年に15万円を予算として計上することとなる
※2.活動報告書作成費は毎年25万円を予算として計上。
ただし、発行は2年に一度なので、2年に一度50万円を支出している。

収支
6,152,779 - 10,000,173
-3,847,394
次年度繰越金 20,849,140

| | | |
|---|---|---|
| 幹事長 | 会計監査 | 会計監査 |
|  |  |  |

単位：¥

| 支出項目 | 詳細 | 金額 | 予算 |
|---------------|-----|------------|-----------|
| インカレ関係 | | | |
| 2021年度ISL貸付金 | | 3,300,000 | 1,500,000 |
| 2021年度ICMR貸付金 | | 1,500,000 | |
| 部局活動費 | | | |
| 広報部 | | 0 | 10,000 |
| 事業部 | | 0 | 150,000 |
| 事務局 | | 1,569 | 50,000 |
| 普及部 | | 86,906 | 10,000 |
| 理事会 | | 89,229 | 100,000 |
| 渉外部 | | 16,760 | 100,000 |
| 技術委員会関係 | | | |
| インカレアドバイザー派遣 | | 0 | 50,000 |
| 学連合宿補助 | | 0 | 200,000 |
| WJOC補助(※1) | | 0 | 150,000 |
| 幹事会関係 | | | |
| 印刷費 | | 0 | 250,000 |
| 幹事役員活動費 | | 426,494 | 1,000,000 |
| 幹事会交通費 | | 204,382 | 550,000 |
| 幹事会会場泊費 | | 8,745 | 50,000 |
| 幹事会会場使用料 | | 1,673 | 500 |
| 資料印刷代 | | | |
| 事務局維持費 | | | |
| 事務局維持費 | 家賃 | 1,500,000 | 1,200,000 |
| 地図関係 | | | |
| 地図作成費 | | 2,446,500 | ※※ |
| その他支出 | | | |
| JOA関係 | 年金費 | 100,000 | 100,000 |
| | 保険金 | 3,000 | 3,000 |
| アソチボーディング関係 | | 0 | 30,000 |
| UNITIVAS関係 | | 3,805 | 100,000 |
| 新歓動画プロジェクト | | 150,000 | 150,000 |
| 賛助金フイードバック | | 85,000 | 100,000 |
| フテミツツのインカレ広告費 | | 0 | 20,000 |
| インカレ限定ウエア買取 | | 0 | 550,000 |
| インカレ限定ウエア買取 | | 60,660 | |
| 手数料 | | 15,450 | 5,000 |
| 小計 | | 10,000,173 | 6,428,500 |

2022年度会計予算案

2022年度日本学連会計 中野 海斗

2022/05/18

単位：¥

| 収入項目 | 単価 | 数量 | 金額 | 予算 |
|----------------|-------|----|----|-----------|
| 加盟金 | | | | |
| 個人 | | | | |
| 北東 | 2,000 | | | |
| 関東 | 2,000 | | | |
| 北信越 | 2,000 | | | |
| 東海 | 2,000 | | | |
| 関西 | 2,000 | | | |
| 中九四 | 2,000 | | | |
| 合計 | | | | 2,300,000 |
| 賛助金 | | | | |
| 2022年度賛助金 | | | | |
| 100,000 | | | | |
| 事業収入 | | | | |
| 2021年度ISL貸付金 | | | | |
| 3,300,000 | | | | |
| 2021年度ICMR貸付金 | | | | |
| 1,500,000 | | | | |
| 2021年度ICMR黒字返金 | | | | |
| 350,000 | | | | |
| 地図関係 | | | | |
| 地図収入 | | | | |
| ※※ | | | | |
| その他 | | | | |
| 関東学連から家賃として | | | | |
| インカレ限定ウエア寄付 | | | | |
| インカレ限定ウエア販売 | | | | |
| 利息 | | | | |
| 1,000 | | | | |
| 小計 | | | | |
| 7,641,000 | | | | |

※1. ユニバーは2年に一度であり2年に一度まとめて30万円を支出するが計算上は1年に15万円を予算として計上することとなる

※2. 活動報告書作成費は毎年25万円を予算として計上。ただし、発行は2年に一度なので、2年に一度50万円を支出している。

| | | |
|---|---|---|
| 幹事長 | 会計監査 | 会計監査 |
|  |  |  |

単位：¥

| 支出項目 | 詳細 | 金額 | 予算 |
|---------------------|----|----|----|
| インカレ関係 | | | |
| 2022年度ICMR貸付金 | | | |
| 1,500,000 | | | |
| 2021年度ISL赤字分補填 | | | |
| 300,000 | | | |
| 部局活動費 | | | |
| 広報部 | | | |
| 10,000 | | | |
| 事業部 | | | |
| 150,000 | | | |
| 事務局 | | | |
| 50,000 | | | |
| 普及部 | | | |
| 100,000 | | | |
| 理事会 | | | |
| 100,000 | | | |
| 渉外部 | | | |
| 100,000 | | | |
| 技術委員会関係 | | | |
| インカレアドバイザー派遣 | | | |
| 50,000 | | | |
| 学連合宿補助 | | | |
| 200,000 | | | |
| WUOG補助(※1) | | | |
| 150,000 | | | |
| 幹事会関係 | | | |
| 印刷費 | | | |
| 250,000 | | | |
| 幹事役員活動費 | | | |
| 1,000,000 | | | |
| 活動報告書作成費(※4) | | | |
| 550,000 | | | |
| 幹事会交通費 | | | |
| 50,000 | | | |
| 幹事会宿泊費 | | | |
| 50,000 | | | |
| 幹事会会場使用料 | | | |
| 500 | | | |
| 資料印刷代 | | | |
| 500 | | | |
| SPU関係 | | | |
| SPU活動費 | | | |
| 120,000 | | | |
| 事務局維持費 | | | |
| 事務局維持費 | | | |
| 1,500,000 | | | |
| 地図関係 | | | |
| 地図作成費 | | | |
| ※※ | | | |
| その他支出 | | | |
| JOA関係 | | | |
| 100,000 | | | |
| 年会費 | | | |
| 3,000 | | | |
| 保険金 | | | |
| 30,000 | | | |
| アンチドーピング関係 | | | |
| 100,000 | | | |
| UNIVAS関係 | | | |
| 100,000 | | | |
| 地区学連への賛助金インターネットバック | | | |
| 20,000 | | | |
| フミテックのインカレ広告費 | | | |
| 550,000 | | | |
| インターネットラクタ講習会 | | | |
| 5,000 | | | |
| 手数料 | | | |
| 7,085,500 | | | |
| 小計 | | | |

令和4年6月3日

日本学生オリエンテーリング連盟
技術委員会様

東北大学学友会オリエンテーリング部

北東学連の来年度インカレミドル男子選手権クラス枠配分について

先日発表されました2022年度のインカレミドル枠配分に関する議事録の内容につきまして、東北大学オリエンテーリング部としては受け入れがたいものであります。東北大学オリエンテーリング部としては、全体として前年度から枠数を変動させない措置(議事録の3番に相当する措置)を検討していただきたいと考えております。以下に理由、議事録に記録されている意見への反対意見を述べさせていただきます。

・欠員数の割合が他学連に比べて大幅に大きい点

まず、男子選手権クラスでは北東学連に割り当てられていた枠数10枠のうち、7割にあたる7人の欠員が出ていることが挙げられます。議事録にも記録されているように、割合にして北東学連は他学連を大きく上回る欠員を出しています。7人という人数にのみ目を向ければ同程度の欠員を出している学連は他にも見受けられますが、北東学連ではミドルセレクトションにエントリーしている大学の数自体が他学連より少なく、3校のみの出場となっていました。そのため、北東学連で最多の出場者を出していた当大学のインカレミドル不参加を受けて、北東学連ではセレクトションのボーダー順位を大きく下回る選手をインカレミドル選手権クラスの出走者として繰り上げざるを得ない状況でした(出走者69名のうち最大で46位まで繰り上げ)。この時点で、北東学連に著しい不公平が生じていることがわかるかと思えます。

・北東学連への救済措置を行った場合の他学連への影響

仮に東北大学含む北東学連への救済措置を行った場合に、他地区学連の大学から批判が起こるようなことがあるのかについても疑問を感じております。東北大学の不参加が確定したのはインカレ開催日の直前でしたが、各種SNSでの情報、不参加の大学が出たことを受けてスタートリストに一時的に空欄ができていたことなどから、北東学連からの欠員が非常に多いことを知った他学連の学生も少なくないと考えられます。そうした状況で北東学連に救済措置を行うことが、一様に他学連、他大学からの批判を招くとは言い切れないのではないかと考えております。

・エントリー人数、学連登録者数の枠配分への影響について

2021年の関東学連以外のミドルセレクトションの出走者数を見ると、東海学連は77名、関西

学連は 68 名、北信越学連は 16 名であるのに対し、北東学連は 69 名が出走しています。学連の加盟登録者数について具体的な数字は定かではありませんが、関東について関西が多く、東海と北東が同じような人数、その次に北信越、中九四の順に多かったと記憶しています。

選手権クラスの枠配分は前年度の実績に加え、各地区学連の加盟員数、セレクションクラス出走者の数も少なからず影響があり、それによって妥当な枠配分が決まるものであると思っておりますが、北東学連の 5 枠は他地区学連の加盟員数、セレクションクラスエントリー人数と比較しても少なすぎるのではないかと思います。前年度東北大学が出場できなかったことにより、むしろ枠配分数が多すぎる地区学連もあるかと思っておりますので、そういった意味でも枠の再分配を検討していただきたいです。

・救済措置を行うことで前例を作るべきではないという意見に対する反論

後から枠配分の規則に特例で変更を加えるような前例を作るべきではないという意見もありましたが、こちらについても反対意見がございます。2020 年度のインカレスプリントの結果は不参加の大学が複数あった状況でありながら次年度の枠配分には用いられませんでした。2021 年度のインカレスプリントでは 2020 年度の結果の代わりに 2019 年度の結果を参照して枠配分を決定し、今回公開された議事録の中の案では 3 番(全体昨年度を採用)に相当する対応がとられていました。そのような前例があるにもかかわらず、今回は欠員の大幅に出た学連に負担を強要しているという状況に一貫性がないのではないかと考えております。2020 年度のインカレスプリントは予選決勝方式という特殊な形式であったこともあり、前年度の結果を採用したことは耳にしていますが、複数の大学が不参加であった点を踏まえると、全体で昨年度の枠数を採用するという措置をとることは必ずしも不可能とは言えないのではないかと思います。

・北信越学連に対して不公平であるという意見への反論

2020 年度のロングで北信越学連に不参加の大学あったことも踏まえて、今回北東学連に特例で救済措置をとることは不公平ではないかという意見に関しても反対意見がございます。2020 年度の北信越学連に与えられた枠数は 2 枠であり、10 枠のうち 7 枠分繰り上げざるを得なかった今回の北東学連と比較すること自体が公平性に欠けるのではないかと思います。

以上の理由から、全体で昨年度の枠配分から枠数を変動させない措置を検討していただきたいです。

枠配分について議論がなされた幹事会からは数か月ほど経ち、他大学や他地区学連には枠配分についての議論は終わったものと捉える方もおられるかもしれません。しかし、3 年間の間中止されてきたインカレミドルリレーが開催されるという矢先に出場がかなわず、

北東学連の枠数も大幅に減ってしまうという状況は、10 枠から 5 枠に枠数が半減したという実際の数字以上に当大学、北東学連にとって損害が大きく、到底納得できるものではありません。大幅に減らされた枠配分数をもとに戻すには長い時間がかかると予想されます。改めまして、東北大学オリエンテーリング部としては、公開された議事録では 3 番に相当する措置(全体で昨年度の枠配分を採用)を検討していただきたいです。